

2022年10月18日

一般社団法人 日本船主協会

今治港イベントでブースを出展 ～海運の認知度向上に向けた活動～

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性を広く一般の皆様を知っていただけるよう、商船・海事施設の見学会、出前授業やSNS等での情報発信など各種広報活動を展開しております。

今般、当協会は、10月15～16日（土・日）に開催された今治港開港100周年記念イベント「みなとフェスティバル100」の機会を捉え、日本海事広報協会の旗振りのもと、国土交通省、日本内航海運組合総連合会、海技振興センターおよび日本水先人会連合会と協力し、海運をはじめとした海事産業を紹介するブースを出展しましたので、その模様をお知らせします。ブースには大勢の方が来場し、終始活況を呈しておりました。



国土交通省や各海事関連団体が制作した資料、文房具やDVDなどを配布するとともに、来場した子どもたちには海運にまつわるクイズを出題するなど、海運の認知度向上に努めました。来場した子どもたちからは「船の仕事が分かった」という声や、親子連れの方からは「子どもに是非資料を読ませてあげたい」といった反応をいただきました。

ブースではオリジナル缶バッジ製作体験も実施。親子連れを中心に多くの方に参加いただき、缶バッジ製作に一生懸命取り組む子どもたちの楽しそうな表情が印象的でした。



この他、海事産業へ理解を深めていただけるよう、日本海事広報協会主催のジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞（船や港を題材にした壁新聞コンテスト）の入賞作品や各団体が制作したパネル・ポスターなどを展示しました。



当協会は今後とも、海事関連諸団体などとも幅広く連携しながら、海運の重要性の認知度向上に向け、広報活動に取り組んでまいります。

ご参考：「みなとフェスティバル 100」特設サイト URL
<http://minatofestival.imabariports.jp/>

以上